

2024 年度 個人研究実績・成果報告書

2025 年 4 月 1 8 日

所属	基盤教育機構	職名	准教授	氏 名	東条美和
研究課題	会計基準の国際的統合化と法人税法上の課題				
研究キーワード	法人税法、IFRS、会計、税務会計論、公正処理基準、租税法	当年度計画に対する達成度		4.当初の計画どおり研究が進まなかった	
関連するSDGs項目	1. 貧困をなくそう	8. 働きがいも経済成長も	9. 産業と技術革新の基盤をつくろう	10. 人や国の不平等をなくそう	

1. 研究成果の概要

- 『法人税法 22 条 4 項における公正処理基準の内容を、裁判例を通じて精査していく。』
大学院講義に合わせ、判例の読み込みを進めている。
新規で 274 件の判例抽出を行い、うち 25 件について精査している段階である。
- 租税法分野における知見を活かして、外部データベース（第一法規『税務キーワード Web』）の作成を中心的に行った。今年度は当該データベースの改訂作業に多くの時間を割いたため、結果として論文の形にすることができなかった。
- 今年度は税務会計研究学会の幹事に就任し、学会等での仕事が格段に増加した。また、2 件の特別委員会委員としての報告準備がスタートし、成果こそまだ先ではあるものの、基礎を作ることはできたと感じている。

2. 著書・論文・学会発表等

（できるだけご記入ください。査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）

【著書・論文（査読なし）】

- 『現代税務会計論（第 7 版）』坂本雅士編著、中央経済社、担当：第 1 部第 4、5 章
- 第一法規株式会社「税務キーワード」について、約 150 語の執筆、1000 語の改訂を担当した。

3. 主な経費

- 判例分析の精度を上げるため、関連書籍の購入や文具代に使用した。
- 資料が多数になったため、整理作業のためのファイル代等に使用した。
- 学会参加のための旅費に使用した。

4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）

- 税務会計研究学会 幹事就任
- 税務会計研究学会 特別委員会「損金経理要件」委員就任
- 非営利法人研究学会 特別委員会「非営利法人に関する税務」委員就任

(本文は 2 ページ以内にまとめること)